

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900677		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム船橋坪井東		
所在地	千葉県船橋市坪井東5-23-6		
自己評価作成日	平成30年1月21日	評価結果市町村受理日	平成30年4月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成30年2月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私どもの施設では、外に出る機会を少しでも多く取れるようにしております。施設に入居してしまうと外出する機会が減ってしまうと思います。毎日、午前中と午後に散歩の時間を設けており、週に3回の食材や消耗品の買い出しにも2名の利用者様を交代で手伝って頂いております。また、季節の感覚を感じて頂くために季節に合わせたイベントを多数実施しております。身体的にも認知症の進行を遅らせるためにも毎日の運動や簡単なゲーム等を行い現状の能力を下げないように工夫しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)気分転換、ストレス解消、脚の筋力低下防止、残存能力を活かした自立歩行の継続の為に近隣の公園や遊歩道などで毎日散歩したり、食材や日用品を入居者と一緒に買いに行くなど日常的な外出支援を積極的に行っている。2)朝10時のティータイムには6種類の飲物を用意し入居者が自由に選択できるよう工夫している。3)「自分の意思で決定し行動する自己決定の支援・残存能力を活かした支援」との理念の実践に努めている。4)市と協力して認知症高齢者徘徊訓練を地域で催したり、認知症カフェを開催し入居者がウエイトレス役をしたり、また、地域の夏祭りに出店を出す等地域の方との交流を積極的に図っている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+Enter)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議や朝礼、夕礼の際には必ず唱和を来ない全スタッフに共有、実践しております。	法人の3つの理念と「自分の意志で決定し行動する自己決定の支援・残存能力を活かした支援」とのホーム理念を夕礼時に唱和している。毎朝のおやつ飲み物を6種類から入居者に選んでいただいたり、毎日の散歩で歩ける能力を持続できるよう支援する等理念の実践に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	社会福祉協議会や在宅支援センターと協力し、地域の夏祭りや認知症高齢者徘徊訓練などを地域で開催しております。	管理者は地域との交流意識が高く、市と協力して認知症高齢者徘徊訓練を地域で催したり、認知症カフェを開催し入居者がウエイトレス役をしまた地域の夏祭りには出店を出す等地域の方との交流を図っている。オカリナや将棋などの地域ボランティアも来訪している。毎日行く散歩では子ども連れの親子や犬の散歩の方と顔見知りになっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座を積極的に行って参りました。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催はしているが、2ヶ月に1回のペースでは実施出来ていない。	今年度は一度も開催できていない。	年間開催予定を立て事前に参加者にお知らせし、ホームの行事や認知症サポーター養成講座、家族会に合わせるなど工夫をして定期的開催することが望まれる。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	集団指導やオレンジキャラバンへの協力を致しております。	指導監査課とは必要の都度報告したり集団指導に参加する等連携を取っている。オレンジキャラバンや認知症カフェ開催、認知症高齢者徘徊訓練開催等、在宅支援センターとは常に密な連携をしている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な研修を行い、拘束以外のケアで解決するように心掛けております。	法人として、3ヶ月に一度の研修と「虐待・不適切ケアと身体拘束」チェックシートを2ヶ月に一度全職員に記入させ報告をする仕組みを作っている。	法人の3ヶ月に一度の研修と2ヶ月毎のチェックシート提出を徹底するなど、職員の意識を向上し続けられるよう取り組むことが望まれる。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修やチェックシートを使い日々のケアを務めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的な研修の他に、現在入居中の利用者様の成年後見人より話を聞くなどしております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書はすべてを読み上げて上で納得して頂き署名をお願い致しております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や苦情相談窓口を社内だけではなく、行政機関もお知らせしております。	ホーム長より、ケアプランについて、今月の様子、健康医療面や入浴表などを写真とともに掲載した「船橋坪井東通信」を毎月家族に送付しホームでの生活状況を判り易く報告している。敬老会、イタリアンビュッフェ、クリスマス会と夏祭りバーベキューに家族に参加して頂き、職員・入居者状況、活動・事故報告などを議題として家族会を開催している。家族の方々から色々な意見や要望を聞く機会ともしている。また、法人として毎年満足度アンケートを実施している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に面談する機会をつくり、社内相談窓口も設置しております。	ユニット会議で出た休憩の取り方や散歩時間の変更等職員の提案を反映させるようにしている。イベントや外出行事や普段のアクティビティー等は職員の提案を尊重して実施するようにしている。管理者も共に業務に就くことが多く、日常的に業務だけでなく悩みや人間関係等いつでも相談しやすい環境作りに努めている。職員が常に逼迫しており、本部と共に対策を検討している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理のないシフトを組み、仕事だけではなく人間観やプライベートな悩みなども相談できるような環境作りに努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修のみならず、外部の研修にも参加を呼び掛けております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋市内のグループホーム協議会に登録し交流を図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居当初は他の方以上に話す機会を多く取り、1日でも早く不安を取り除けるように努めております。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族会を開催し、他のご家族とも交流できる機会を設けております。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人と話をする時間を多く取り本人から聞いた話をご家族様に確認しております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護現場ではなく、一緒に生活しているという家庭的な環境作りに努めております。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>小さなことでもご家族と相談しながら進めております。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>可能な限り趣味などの支援を行っております。</p>	<p>絵画の絵の具の購入、生け花のお花、裁縫好きの方にコースターを縫って貰う、釣り好きの方を近くの釣り堀にお連れするなど、趣味であったことが実現できるよう支援している。毎週家に泊まりに行く、家族とお墓参りや馴染みの美容院や外食に行く、また、電話の取り継ぎや年賀状など手紙のやり取りのお手伝いもしている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共同で行えるレクやスタッフを交えての会話を多く取るように努めております。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も定期的に連絡を取ったり、また訪問し現在の状況を把握しております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望を普段の会話から聞き出し本人の意向に応えられるように努めております。	家族から生活歴を聞いて参考にしている。裁縫好きな方にはコースターを作ってもらい、本人の得意を活かせるよう支援している。飲み物や買い物など希望があればすぐに対応している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話の中から既往歴を聞いたり、ご家族様に確認しながらケアに生かしております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事はすべてご自身でもらい、これまでの生活リズムを変えない様に努めております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフや家族だけではなく、医師や看護師、薬剤師など様々な関係者からご意見を頂き作成しております。	プランが個人記録ファイルにはさまれており、スタッフが目を通しやすくなっている。モニタリングは居室担当者かケアマネジャーが行っている。ユニット会議でのスタッフの意見をプランに活かしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの記録の他に会話の中で聞いた様々な情報も共有できるように記録しております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に新しい試みを模索し、挑戦しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアを積極的に利用させて頂いたり、地域のイベントには毎回参加させて頂いております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携し、緊急時でも受け入れ可能な病院をいくつか確保しております。	往診医は2名おり、協力医療機関とは24時間オンコール体制となっている。精神科などの外来受診は原則家族が同行している。スタッフ間では往診ファイルで情報を共有している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間、看護師と連絡が取れる体制になっており、常に情報の共有に努めております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院可能な病院と協力医療連携を行っております。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には書面を読み上げて説明を行っております。	指針を読み上げ確認を行い、ご家族の希望と職員の体制を整えば、状況に応じて対応していく。	看取りまで行う方針とのことなので、今後職員の研修を実施し体制を整えていくことを期待したい。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な研修の他に、消防署に依頼し救命講習を行っております。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練や備蓄品の使い方や緊急時の調理講習なども行っております。	毎日「防火用自主点検票」にて確認している。夜間では10分で2名のスタッフが駆けつけることができる。救急対応の研修も実施した。	全ての夜勤者が避難訓練を体験できるように訓練の頻度やシフトの調整など検討してください。夜間火災想定のプロチャートの作成と研修を実施されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷つけない声掛けや対応に心掛けております。	排泄介助では、ほかの人に聞こえないよう声かけに配慮するとともに、フロアから見えない位置のトイレに誘導している。入浴はなるべく同姓介助としている。業務におわれてケアがおろそかにならないよう、スタッフで協力しあい、よい雰囲気醸成できるよう留意している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホーム独自の運営理念にて、自己決定の支援を掲げて実践しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様を最優先に支援し、出来る限りおひとりおひとりの希望に添えるよう努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出掛ける際には洋服をご自分で選んでもらい、女性の方にはお化粧の支援も行っております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に手伝ってもらい楽しく調理しております。	入居者は皿洗い、皿拭き、盛り付け、配膳を手伝っている。イベント外出では外食を組み込み、お寿司、ファミレス、ファーストフードなどを楽しんだ。ホームでもイタリアンビュッフェ、バーベキューなど食を楽しむ機会が多い。自己決定の支援との理念にある通り、朝10時のティータイムには6種類の飲物を用意し、入居者が自由に選択できるよう工夫している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は細かく記録し、いつもと変わった様子はないか気を付けております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い口腔内の清潔に気を付けております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おむつなどは出来る限り使用せずに、トイレでの排泄を支援しております。	日中は全入居者がトイレで排泄できている。夜間のみパット交換の方もいる。おむつ使用者はゼロ。立位を保てない方でも2名介助でトイレで排泄できるよう支援している。理念にある通り、残存能力を活かした支援に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬を使用せずに排泄できるように、日々の生活や食事などに工夫しております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	出来る限りご自分のペースで入浴できるように努めております。	本人の入りたい時間での対応もしている。2名介助で浴槽に入る方もいる。ゆず湯やしょうぶ湯など季節のお風呂を楽しんでいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の生活や生活習慣などを考慮し、夜間ゆっくり休めるように工夫しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報や往診時の指示などをまとめたファイルを作成し、共有を行っております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おひとりおひとりに役割を持って頂けるように支援しております。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩の他に、季節ごとのイベントも多数行っております。	管理者は気分転換、ストレス解消、脚の筋力低下防止の為に外に出る機会を作りたいと考え実施している。近隣の公園やせせらぎの路などへ毎日午前・午後に分けて散歩している。食材や日用品を入居者と一緒に行きに行くなど日常的な外出支援を積極的に行っている。また、外出イベントとしてお花見、系列グループでの運動会や合唱コンクール、社協の催しなどにも積極的に出かけている。家族と自宅に帰る方もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩の途中での買い物や、本人希望の買い物などもご家族様と相談し出掛けております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用は申し出がございましたらその都度対応致しております。手紙、年賀状などの支援も毎年行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内の照明、空調の調整の他にスタッフものんびりした雰囲気を作るように心掛けております。	畑では夏野菜を収穫した。ベランダのプランターでは花を楽しんだ。フロアからトイレまでの経路が大きく矢印で表示されわかりやすくなっている。フロアには余計な物を置かないようにしており、フロアからの廊下も広く開放感がある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースのテーブルは決まった席を設けておらず、その都度、色々なかたと交流が持てる様に支援しております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具などを持ち込んでもらい、見慣れたものに囲まれ落ち着いた生活が出来るように心掛けております。	エアコン、クローゼット、壁掛けフック、入口手すりが完備されている。居室入り口には表札のように名前が掲示されている。ベッド、カーペット、いす、タンス、テレビ、加湿器、仏壇、洋風こたつなどを持参されている。転倒防止のセンサー設置の部屋もある。ベッドではなく、お布団使用の方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの表示や居室の表札など見やすく表示し、歩行ルートには物を置かないように努めております。		